

基調講演

持続開発目標が 将来への青写真

「観光で地域創成を！」をテーマに掲げた基調講演では、国連世界観光機関（UNWTO）のズラフ・ポロリカシュヴィリ事務局長と世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）のグロリア・ゲバラ理事長兼CEOが登場しました。



ズラフ・ポロリカシュヴィリ UNWTO 事務局長

UNWTOのポロリカシュヴィリ事務局長は、国連による「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に示された17の持続開発目標が「ツーリズムの将来にとつての青写真となる」と指摘。「ツーリズムが経済的責任とより良い生活と機会の提供という役割に欠かせなければならないことを認識する必要がある」と訴え、①イノベーションやテクノロジーへの投資を通じたマイナスイノベーションの管理強化、②イノベーターで雇用を創出している中小旅行会社や起業家の支援、③多くの

良い雇用を創出するためのスキルや実地教育の改善、などに優先的に取り組んでいることを強調しています。

WTTCのゲバラ理事長兼CEOは基調講演で、「チャンスとチャレンジの両方に直面している」という認識を示し、①空港運営や入国管理制度などにおけるテクノロジーの活用、②自然災害をはじめ様々な危機への備えと対策、③将来にわたる持続可能な成長の促進、を重点的な戦略と位置づけ、行政に対しても「住民だけでなく、地域を訪れる旅行者の受け入れも考慮したインフラ整備やエネルギー政策などに取り組むべき」と語りました。

TEJ 観光大臣会合

「世界で最も選ばれる都市」へ

第2回TEJ観光大臣会合には、12カ国からの観光大臣など観光行政トップとUN



グロリア・ゲバラ WTTC 理事長兼 CEO

WTOなど4つの国際観光組織団体の代表に加え、観光庁の田端浩長官と東京都の小池百合子知事も出席し、持続可能な観光開発の取り組み事例などが報告されました。

フィリピンのベルナデット・ロムロプヤット観光大臣は、「人気の高い観光地ほど、自然環境や文化財への影響が大きくなり、その魅力が損なわれてしまえば、ツーリズムの持続的発展を維持できなくなる」と強調。ポロカイ島を半年間にわたってクローズし、自然環境の回復を図るといった大胆な政策を実施していることを紹介しました。

33万人の人口に対して6倍以上の200万人に及ぶ外国人旅行者を受け入れているアイスランドのソルディス・コルブルン・レイクフォルド・ギルバドツェイル観光産業イノベーション大臣は、「地域に負荷がかかりすぎたら観光開発は不可能となる。量より質を求めるべき」と訴えています。スーダンのグラハム・アブド・ガー



観光庁の田端浩長官



東京都の小池百合子知事

ディルダミン観光・古代および野生動物省副大臣も、「地域のニーズに応え、自然環境や文化財を保全する適切な開発を進めるには、地域社会の関与が不可欠」と強調しました。

2019年に日本でラグビーワールドカップが開かれるのに続き、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地となる東京都の小池知事は、「さらなるバリアフリー化を進めて、共生社会を進展させるチャンスであり、観光資源の多様化にも取り組み、世界で最も選ばれる都市を目指す」と決意を示しました。



アイスランドのソルディス・コルブルン・レイクフォルド・ギルバドツェイル観光産業イノベーション大臣



スーダンのグラハム・アブド・ガーディル・ダミン観光・古代および野生動物省副大臣